

右脳・左脳のおもしろ診断

診断その① 情報をインプットする(理解する)際、どちらの脳を使って捉えているか？

まず、指を組んでみてください。
普段自然に組む感じでOKです。
組み方は左右の親指どちらかが上にくる二通りの方法がありますが、どちらか
しっくりくるほうがあるはずです。
このときにどちらの親指が上に来ているかがポイントとなります。

診断その② 情報をアウトプットする(表現する)際、どちらの脳を使って伝えているか？

次に、腕を組んでみてください。
こちらも先ほどと同様、組み方は二通りありますが、どちらかしっくりくるほうを確
認してください。
このときにどちらの腕が上に来ているかがポイントとなります。

左親指が上 → 情報のインプットは「右脳」



- ➡ 右親指が上にくる人は、情報のインプット(理解)は「左脳」で行っていることが多い。
- ➡ 左親指が上にくる人は、情報のインプット(理解)は「右脳」で行っていることが多い。

➡ 右腕が上にくる人は、情報のアウトプット(表現)は「左脳」で行っていることが多い。

➡ 左腕が上にくる人は、情報のアウトプット(表現)は「右脳」で行っていることが多い。



右腕が上 → 情報のアウトプットは「左脳」

診断結果！！

	右脳 (感覚/直感/イメージ)	左脳 (論理/分析/計算)
診断その① 情報のインプット (理解)	左指上 = 右脳 で理解 感覚的にとらえるので、図やイメージ なんかで説明されると理解しやすい。	右指上 = 左脳 で理解 論理的にとらえるので、言葉や数字 などで説明されると理解しやすい。
診断その② 情報のアウトプット (表現)	左腕上 = 右脳 で表現 直感的に説明するので、「すごくす ごかった」、のような表現になりや すい。長嶋茂雄さんタイプ！？	右腕上 = 左脳 で表現 論理的に説明するので、「何がど のようにどうだった」、のような客 観的なの確な表現が多い。

右脳 右脳 タイプ

『感覚とイメージで突っ走る、天才肌タイプ』

感覚でとらえて感覚で伝えるので、本人には感覚で理解できていても、なかなか人に的確に伝わらないことが多い！？ただし右脳には優れた能力が潜んでいるので、天才肌が多いとか。。

右脳 左脳 タイプ

『直感でとらえて論理的に表現、得する出世タイプ』

感覚でパッととらえて論理的に的確に伝えることができるので、得するタイプ！“出世タイプ”とも言われる。だがこのタイプの方は、意外に少ないような。。

左脳 左脳 タイプ

『論理力に優れた、賢く頼れる存在の先輩タイプ』

論理的にとらえて論理的に伝えるので、本人もまわりのひとも、ものごとを的確に理解できる！ただし、堅い感じがしないでもないが。。 左脳左脳の方はイメージや感覚・感情を研ぎ澄ましてみるとよいでしょう。

左脳 右脳 タイプ

『論理でとらえて感覚で表現する両刀使い、おちゃめタイプ』

論理的にとらえて感覚で伝えるので、本人は的確に理解できていることでも人には理解してもらいにくいかも。。 でもいったん理解したことが右脳によって表現する際に天才的な発明にいたることもあったりして！？ 頭の中では分かっているのになかなか人に伝わらないというあなた、ひょっとしてこのタイプではないでしょうか。。